

「北山小学校の発掘体験の取組」

1. 学校名	始良市立北山小学校
2. 学年・人数	5・6年生 13人
3. 日時・場所	令和6年6月19日（水）10:00～11:30 地層学習, 遺跡発掘体験 始良市北山
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	(1) 名称・時代 下城跡（しもじょうあと） 戦国時代 (2) 特徴 戦国時代の山城の跡 東西にシラス台地を掘削して築いた主要な5つの曲輪があり, それを取り囲む巨大な空堀, 土塁がはっきりと分かる。さらに, ところどころに虎口や帯曲輪の跡があり, 敵の侵入に備えていたことが分かる。 発掘現場の下層からは, さらに古い時代（縄文時代）の土器や炭なども出土している。
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	宿泊学習で川遊びを予定していたが, 川の増水のため活動ができず, 近くで代わりになる活動を探していたところ, 学校近くで遺跡の発掘をしている「大福コンサルタント」と「県立埋蔵文化財センター」の方が, 発掘体験を受け入れてくださり, 取り組ませていただいた。 前日に急なお願いだったにもかかわらず, 地層学習ができるように準備してくださったり, 発掘体験の際には作業を止めてサポートしてくださったりと, 多大なご協力をいただいた。
6. 取組の様子（研究発表等）	 地層についての説明  発掘した遺物を鑑定してもらう様子
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【教員】 400年ほど前の磁器のかけらや, 縄文時代の炭, 土器などを見つけて, 子供たちは大喜びだった。中には, 「川遊びよりも貴重な体験ができてよかった。」などの感想を言っている児童もあり, 充実した活動ができてよかった。